

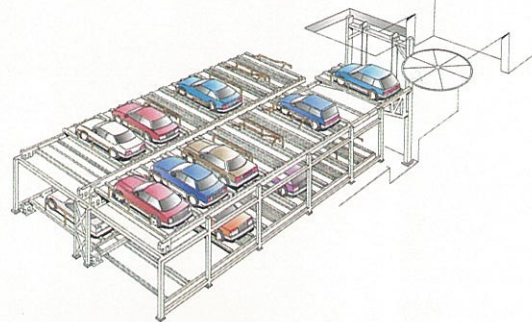
[立体駐車設備／導入事例]



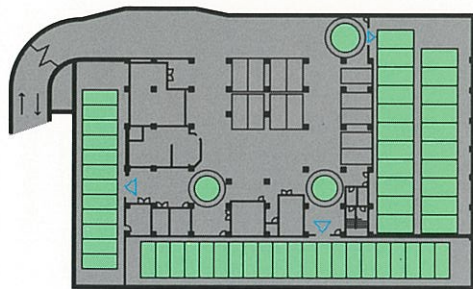
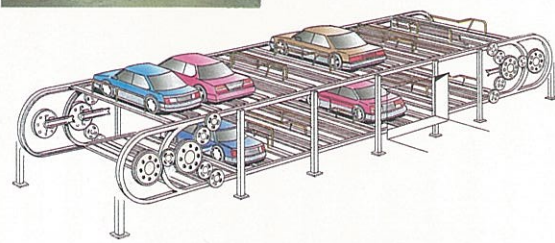
■建築概要／建築規模：(1街区)地上21階 地下1階・(2街区)地上21階 地下1階・(3街区)地上12階 地下1階／建築面積：5,145㎡／延べ床面積：1.6ha／設計監理：共同建築設計事務所・都市建築研究所 共同企業体／施工：(1・2街区)大成建設・安藤建設・多田建設 建設共同企業体 (3街区)清水建設(株)



第1街区・毛利館(3基)
●ニッセイ・レベルパーク
型式：LPLS2C-18FUS
収容台数：36台
●ニッセイ・AUROパーク
型式：AURO・SSW-24
AURO・SSW-42
収容台数：66台



第2街区・住吉館(3基)
●ニッセイ・AUROパーク
型式：AURO・SSW-50
AURO・SSW-36
AURO・SSW-32
収容台数：118台



[第1街区・毛利館／地下1階]



住・商・医を擁する先進の複合都市
住吉毛利地区市街地再開発事業

住吉館・毛利館(ツインタワー住利)

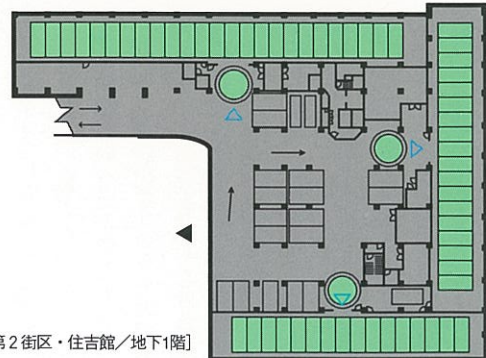
地上21階建てのツインタワーの高層住宅

都心からおおよそ5キロ、JR「錦糸町駅」を徒歩圏にとらえた利便性の高いロケーションに位置する住吉毛利地区。この街が今、江東区が推進する都市開発プランをベースにまったく新しい未来型の複合都市へと生まれ変わりつつあります。21世紀のクオリティライフを実現すべく計画された3つの街区。まず、先頭完成したばかりの地上21階建てのツインタワーの高層住宅棟。全403戸にも及ぶ居住空間を擁し、「毛利館」(第1街区)「住吉館」(第2街区)とそれぞれ呼ばれているこのツインタワーは、地域のランドマークとしての役割も担っています。各1階には商業施設が設けられ、また居住者のために開放された屋上ラウンジからは、ウォーターフロントエリアをはじめとする東京の見事な景観が一望。まさに夢の居住空間と言えるでしょう。

さらに第3街区には、12科の診療施設と265床の入院病室を設けた「総合病院棟」(あそか病院)と、それに隣接する「ケア付住宅棟」(90戸)を建設予定。なかでも現在建設中の、病院棟と一体となった24時間体制の医療サービスを提供するケア

付住宅は、これから迎える高齢化時代に対応する期待の住居として各界の関心を集めています。1万2千平方メートルの広大な敷地の中には、他にも、都市計画公園やショッピングモールなどの整備が着々と進められており、住・商・医を一体化したこの複合空間は、来たるべき時代のコミュニティタウンとして今後の発展がますます期待されています。

快適な空間創造のために駐車場を地下に
「明日の都市」を築くべく、あらゆる角度からグリードを求めて開発が進められている住吉毛利地区開発では、人間にとってより快適で、より豊かな空間を実現するために、さまざまな面で土地を最大限に有効活用する方針が採られました。そのため、ツインタワーでも駐車スペースは地下式を採用。2つの住宅棟の地下1階には、それぞれ機械式駐車設備が備えられています。毛利館123台、住吉館149台の合計272台収容。車種の特定は難しいため、機種は大形車用と中型車用に分けて設置。限られたスペースの中で最大限の駐車台数が確保されただけでなく、効率のよい入出庫が同時に実現されました。



[第2街区・住吉館／地下1階]

ARRANGEMENT

[立体駐車設備／導入事例]



■建築概要／建築規模：地上9階 地下2階／建築面積：1,300㎡／延べ床面積：13,866㎡／設計監理：(株)山下設計横浜支社／施工：西松建設・和同建設・関工務店 建設共同企業体

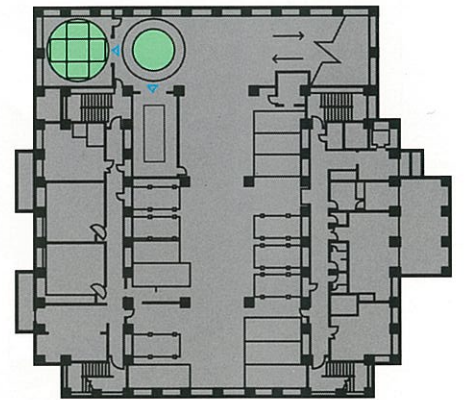


働く人々のニーズに応える
21世紀を担う総合労働行政サービスの拠点

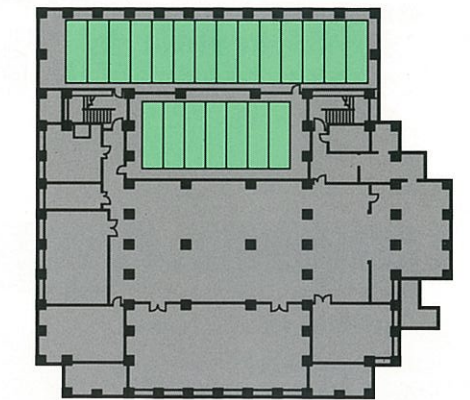
かながわ労働プラザ (Lプラザ)

入館しやすさを追求した開かれた空間
横浜の代名詞ともいえる中津川や元町商店街への最寄り駅、JR「石川町駅」の近くに、神奈川県がかねてより建設を進めていた「かながわ労働プラザ」(通称、Lプラザ)が完成しました。Lプラザの主な目的は、産業構造の転換、高齢化の進展・女性の職場進出・外国人労働者問題といった複雑多様化する昨今の労働環境の変化に対応し、働く人々のニーズに応えるサービスの提供に務めようというものです。そのためビルには、主な機能として労働行政に携わる5機関が入居。また関係7団体が、総合的な労働相談やビジネスでわかりやすい資料による労働情報を迅速に提供するなど、さまざまな面から皆様のサポートします。交流・集会のための多目的ホールや大小会議室、トレーニングルームなども備え、これからの時代を担う総合労働行政サービス施設として、各方面から期待が寄せられています。

設計は、相談・執務・集会・福祉という複合的用途をもつ建物の性格上、障害者や高齢者などの利用もよく予想されるため、当初から来館者の立場を最優先に計画が練られました。開放的な空間



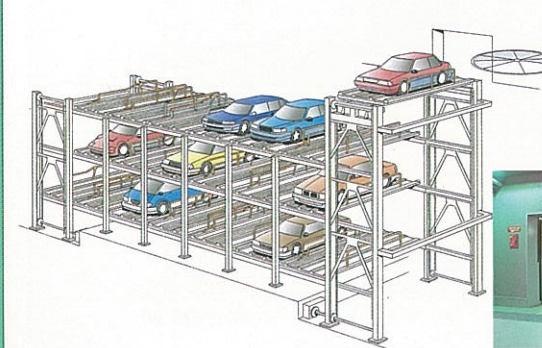
[地下1階]



[地下2階]

を備えることで入館しやすさを追求するなど、各所にこまやかな配慮の行き届いた設計が特徴です。また外観は、新時代にふさわしい労働行政サービス機関としてのシンボル性をアピールすべく、落ち着いた雰囲気の中にも21世紀への志向を織り込んだデザインを取り入れ、正面の入口と屋上に設けたゆるいカーブ屋根は、街のランドマークとなるべく計画されました。

全80台収容の駐車場、内55台を機械式で
Lプラザには「自走式平面駐車場」と「機械式駐車設備」の2つの駐車場が設けられています。乗り込み口は共にスロープで降りた地下1階。自走式駐車場には、車椅子の利用者のための駐車場の他に一部、二段式駐車設備も配置されています。さらに、機械式駐車設備は2機種設置。建物の全収容台数80台の内、3分の2以上を占める55台がここに収められます。普通乗用車用としては、ターンテーブル内蔵式の3段階型多層循環方式(38台収容)。また大形乗用車用としては、ターンテーブル外置式の3段階型多層循環方式(17台収容)を採用。狭いスペースを有効に活用することで、効率の良い駐車台数が確保されています。



●ニッセイ・SPパーク
型式：SP.SW3HT-38
SPL3H-17
収容台数：計55台

